

ACUSON Freestyle 導入レポート編

JA 秋田厚生連 雄勝中央病院



JA 秋田厚生連 雄勝中央病院は昭和 8 年設立の雄勝医療購買組合にはじまり、規模を拡大しながら湯沢雄勝地域の中核病院としての役割を果たしてきました。救急医療やがんの診療をはじめとし、あらゆる疾患の一次、二次医療を受け持っています。救急告示病院や地域災害拠点病院、地域がん診療病院の指定を受け、最新の設備と機器で医療を提供しています。

今回、血管造影室にワイヤレストランスデューサに対応した超音波画像診断装置 ACUSON Freestyle (以下 Freestyle) を導入いただきました。ご使用の感想を循環器内科の阿部起実医師におうかがいしました。

循環器内科について

当院の循環器内科は 2021 年 10 月から常勤医が赴任しています。秋田大学循環器内科から初めて派遣ということで私が配属され、その後もう一人の医師が来て 2 人体制でやっております。2 人体制で人数の多い病院と比べるとできることやできないことがあります。基本的には外来診療とカテーテル治療を行っています。カテーテル治療は心臓カテーテル検査 PCI を待機で、準緊急の PCI とペースメーカーの植え込み術を主に行っております。

医療圏自体が巨大ではないので、数多くの AMI が入ってくるといようなことはないですが、徐々に紹介件数も増えてきており、ペースメーカーの植え込み術は一般的な病院と同等数になってきました。今後秋田大学に若い先生が増えれば、大学から 3 人目を出してもらえる可能性もありますし、治療可能な疾患、手技の拡張も目指していきます。



阿部 起実 先生

導入経緯や使用感について

Freestyle の導入を決めたポイントは？

以前勤務した病院(大曲厚生医療センター)で使った印象が良かったという点です。すごく勝手が良かったという経験があります。

超音波診断装置を使つての穿刺の有用性は実際に体験してますし、穿刺用の装置は導入したいと考えていました。

手元でも本体の操作ができる Freestyle の使い勝手が導入を決めたポイントとなりました。



ワイヤレストランスデューサについて

医者の人数が少ないのもあるんですが、カテーテルに関わるスタッフの人数も多いと言えず、限られた人数で治療を行っています。例えば、コードのあるトランスデューサであれば、一回見て不潔にしないように置いて、もう一回見てと、繰り返す必要があります。そのような操作をするときに、トランスデューサのコードを持ってくれる人や操作してくれる人がいなきゃいけないんです。Freestyle はそのようなフローがいらず、コードを気にすることなく、かつトランスデューサで本体の操作ができる点*1 がすごく良かったと感じています。人数少ない環境でみんなでフロー良く進めていけるのはいい点です。

いずれ足の EVT (末梢血管治療) を行いたいとなった時に、エコーガイド等で超音波検査技師を準備する必要もあるかと思いますが、そのような人員も現状確保することができません。自分でエコーを当てながら手技を施行するときに重宝するかと考えています。

超音波診断装置での穿刺について

橈骨動脈などを穿刺する際にうまくいかなく、回数がかさみパズルしてしまうときがあります。しかし、超音波診断装置で確認すると安全に穿刺ができ、アプローチ部位を変える必要がなくなった経験があり、超音波による穿刺のメリットを実感しています。

足の血管穿刺でも、前壁だけを穿刺したい、できるだけ出血の合併症を減らしたいという中で、最近の傾向としても超音波診断装置での穿刺は特に若い先生の間で合併症軽減のため行われています。熟練の先生方はテクニックで穿刺を行ってきましたが、今の若い世代は技術進歩してきた機械を使ってより適した医療を選択できるようになってきました。必ず超音波診断装置を使わなければいけないわけではないですが、超音波を使用したほうがより安全に確実に血管穿刺が完了できます。特に人数の少ない病院で使ってほしいと考えています。人数の少ない施設、遠隔地などでは様々なリスクを回避しつつ、大きなメリットを受けることができると思います。

Freestyleの専用プローブカバーについて

プローブカバーは使い易いですね。カバーをかける際も人員をかける必要がなく、そのままプローブを受け取ることができるので、使い勝手がいいです。清潔域の維持しやすさに役立ってます。



今後Siemens Healthineersに期待すること

Freestyleのトランスデューサは全然苦にならない重さですが、軽くなることは期待しています。描出時間や操作時間が長くなるような症例だと軽いトランスデューサは助かります。またフットプリントがセクタのように小さくなると使う幅が広がるので期待しています。



お話を伺った先生

循環器内科 阿部 起実 先生

JA 秋田厚生連 雄勝中央病院

所在地：秋田県湯沢市山田字勇ヶ岡 25

ACUSON Freestyle

ケーブルレス技術により、感染リスクの低減、時間の短縮にも貢献します。

- ・ケーブルレス、かつ完全に滅菌カバーで覆えるトランスデューサが感染リスクを低減
- ・トランスデューサで装置本体の操作が可能*1
- ・内部警報システムによりトランスデューサの紛失等を防止

*1 フリーズやカラードプラモード等のON/OFF、視野深度やゲインの調整が可能



製造販売業者
シーメンスヘルスケア株式会社
〒141-8644
東京都品川区大崎1-11-1
ゲートシティ大崎ウエストタワー

本カタログに関するお問い合わせは、下記電話番号までお願いいたします。
TEL 03-3493-7500
仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。なお、本カタログにはオプションが含まれています。詳しくは担当営業におたずねください。

本体・プローブ
汎用超音波画像診断装置 アキュソン Freestyle
医療機器認証番号：226AIBZX00008000
クラス分類：管理医療機器（クラスII）
特定保守管理医療機器：該当
設置管理医療機器：非該当